

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133604		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。									
事務事業名	中学生佛山市派遣事業							担当部局・課	教育委員会学校教育部 学校教育担当			
事業内容	市内各中学校から1名、計8名の推薦された生徒を中国・佛山市へ派遣する。派遣生は佛山伊丹友好交流センターに滞在し、現地小・中学校での交流活動、佛山市及び近隣都市の見学等を行う。							事業開始(予定)年度			C	
								平成8年度				
								事業終了(予定)年度				
								—				
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現									
		項目	きめ細かな地域福祉の推進									
		施策	国際交流の推進									
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。											
事業の目的	伊丹市国際友好都市中国佛山市との教育交流の一環として、中学生を佛山市に派遣し、学生との交流活動をとおりて友好を深めるとともに、佛山市及び近隣都市の見学等をとおりて中国の文化や社会についての理解を深める。							予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 教育費 (項) 教育総務費 (目) 教育指導費 (事項) 学校教育活動振興指導費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)							平成18年度(予算)				
	事業費	1,097千円	財源内訳					事業費	980千円	財源内訳		
			国・県補助金等		—					国・県補助金等		—
			市 債		—					市 債		—
			その他(使用料等)		—					その他(使用料等)		—
			一般財源(市税等)		1,097千円					一般財源(市税等)		980千円
	投入人員	0.21人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		
	人件費	1,799千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		
	経費合計	2,896千円						経費合計	1,837千円			
活動指標	指標名(単位)	校内で発表等を実施した学校数（校）						計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度	
	意味・算式等	8中学校の中で、派遣後、校内で発表会等を実施した学校							計画値	8	8	
									実績値	8		

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。